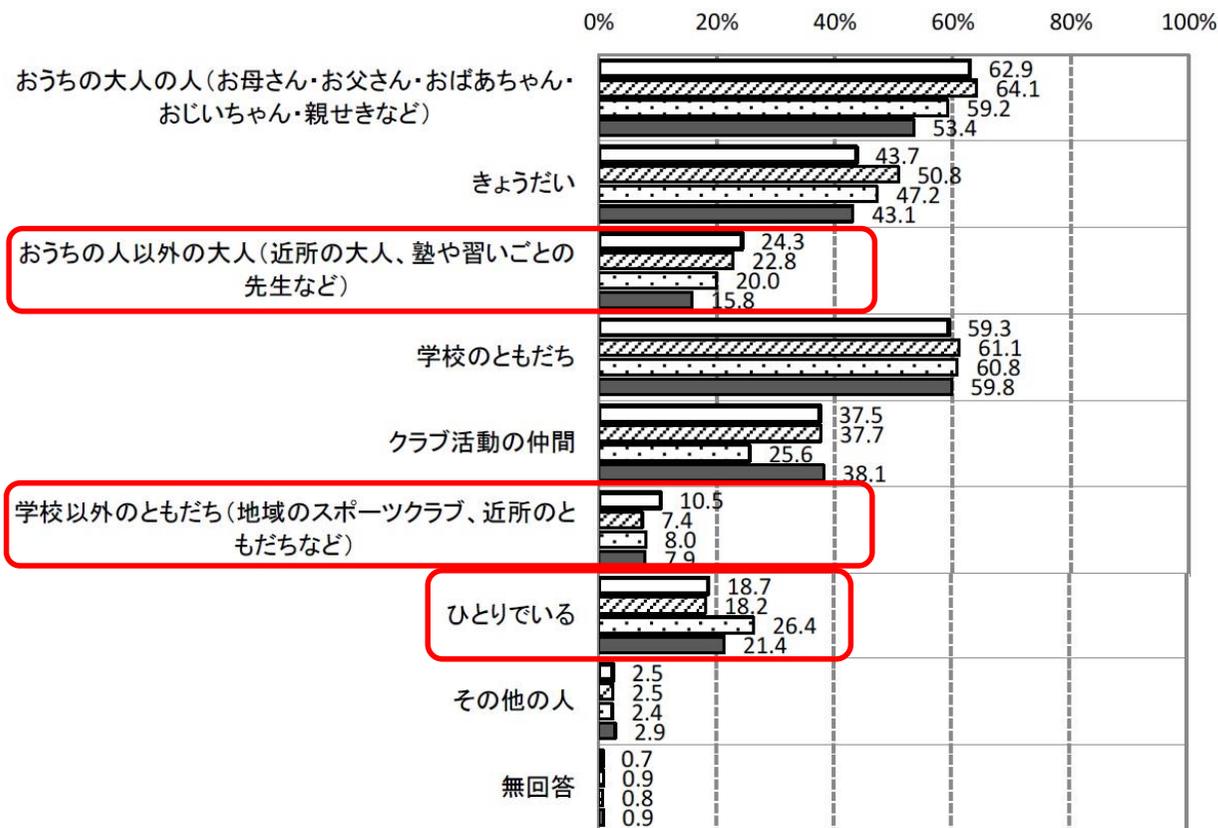


4. 子どものつながりに関すること

豊中市

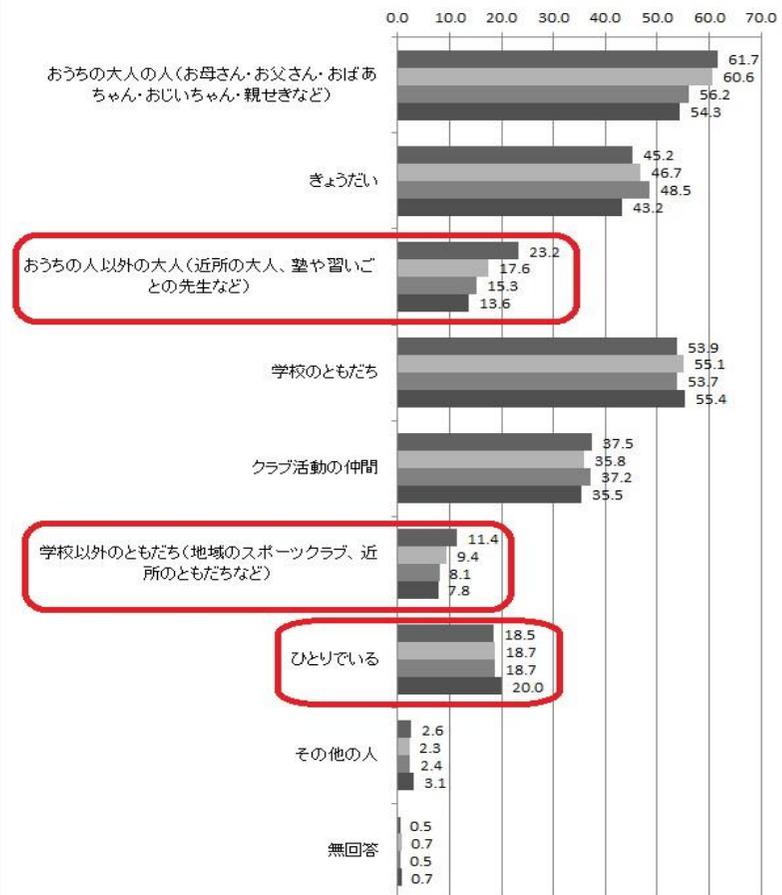
◇放課後ひとりでいる子どもについては、困窮度に関わらず約2割。
困窮度が高いほど、おうち以外の大人や学校以外の友だちと過ごす割合は低い。



中央値以上 (n=1,077) 困窮度Ⅲ (n=571)
 困窮度Ⅱ (n=125) 困窮度Ⅰ (n=341)

大阪府全市町村 (43市町村)

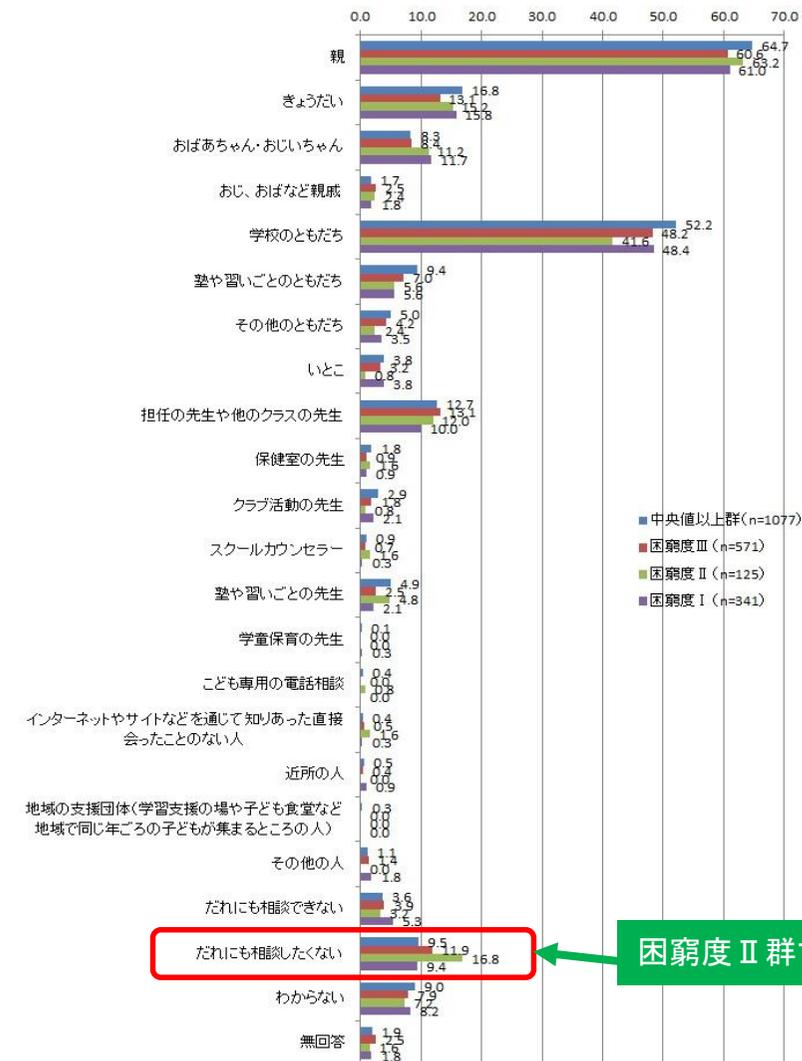
◇放課後ひとりでいる子どもについては、困窮度に関わらず約2割。困窮度が高いほど、おうち以外の大人や学校以外の友だちと過ごす割合は低い。



中央値以上 (N=20437) 困窮度Ⅲ (N=11973) 困窮度Ⅱ (N=2235) 困窮度Ⅰ (N=6042)

豊中市

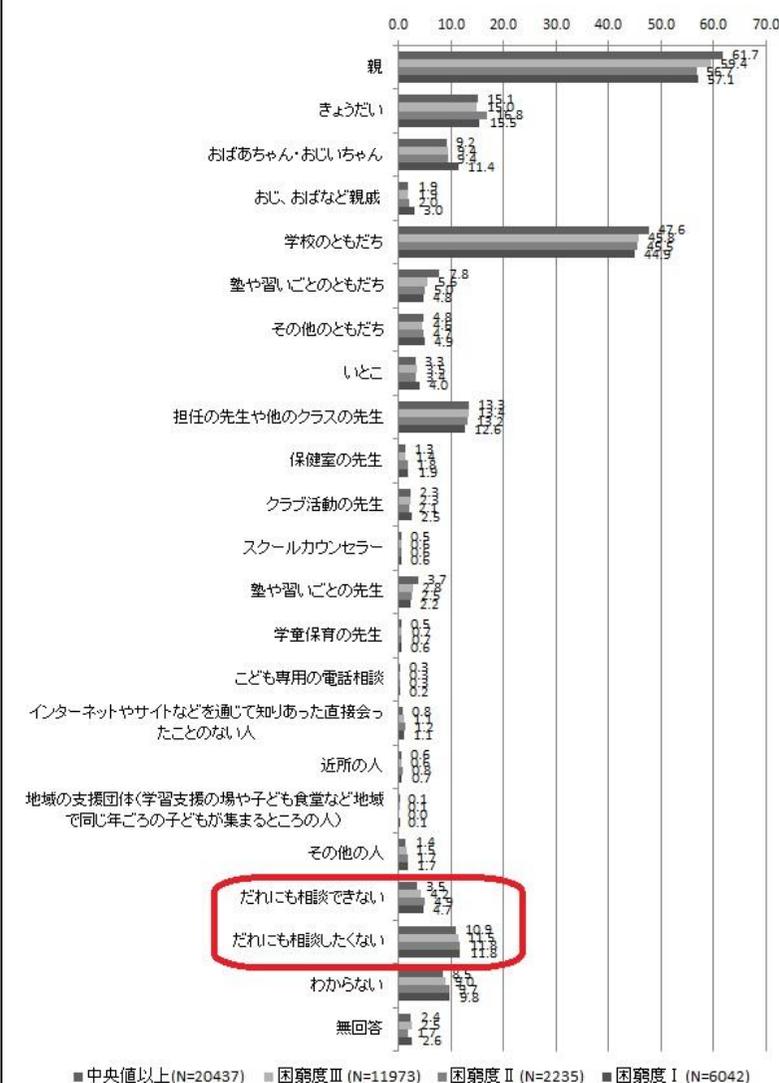
◇子どもの相談相手について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目：「学童保育の先生」0.3%(中央値以上群に対して、3.2倍)、「だれにも相談できない」5.3%(1.5倍)



困窮度Ⅱ群で割合が多い=16.8%

大阪府全市町村 (43市町村)

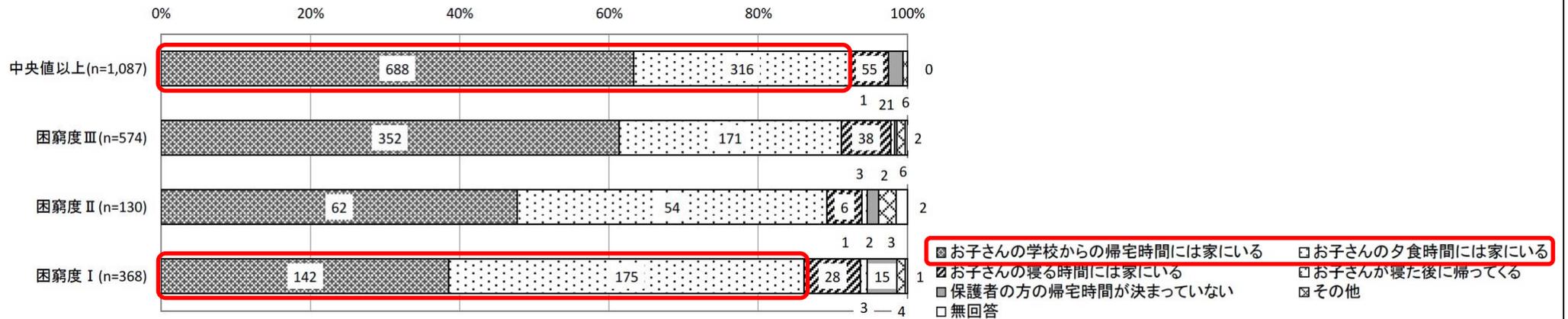
◇子どもの相談相手について、誰にも相談できない(したくない)は、困窮度との関連性が見られない。



だれにも相談できない
だれにも相談したくない

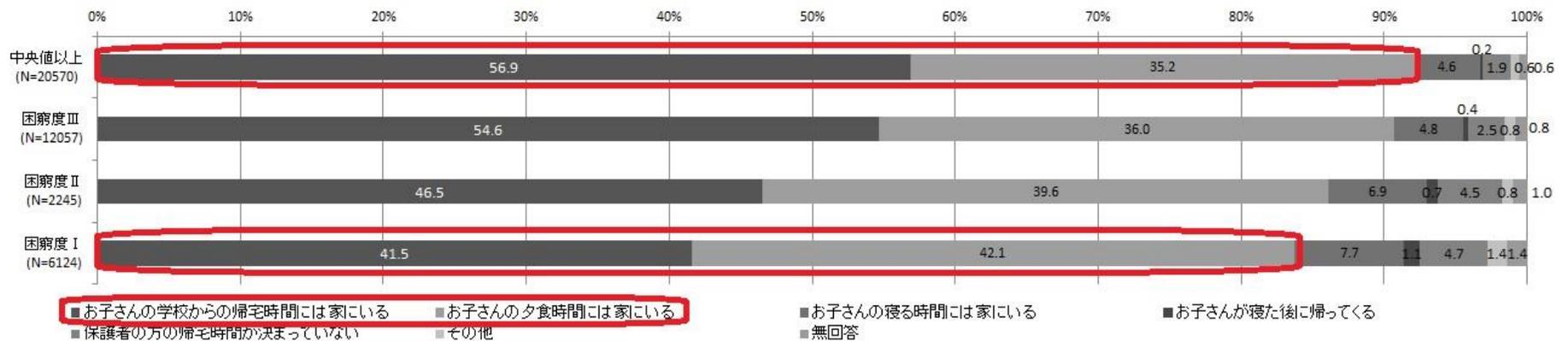
豊中市

◇困窮世帯ほど保護者の家にいる時間について、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」「お子さんの夕食時間には家にいる」割合が少ない。(中央値以上=92.4%、困窮度 I =86.1%)



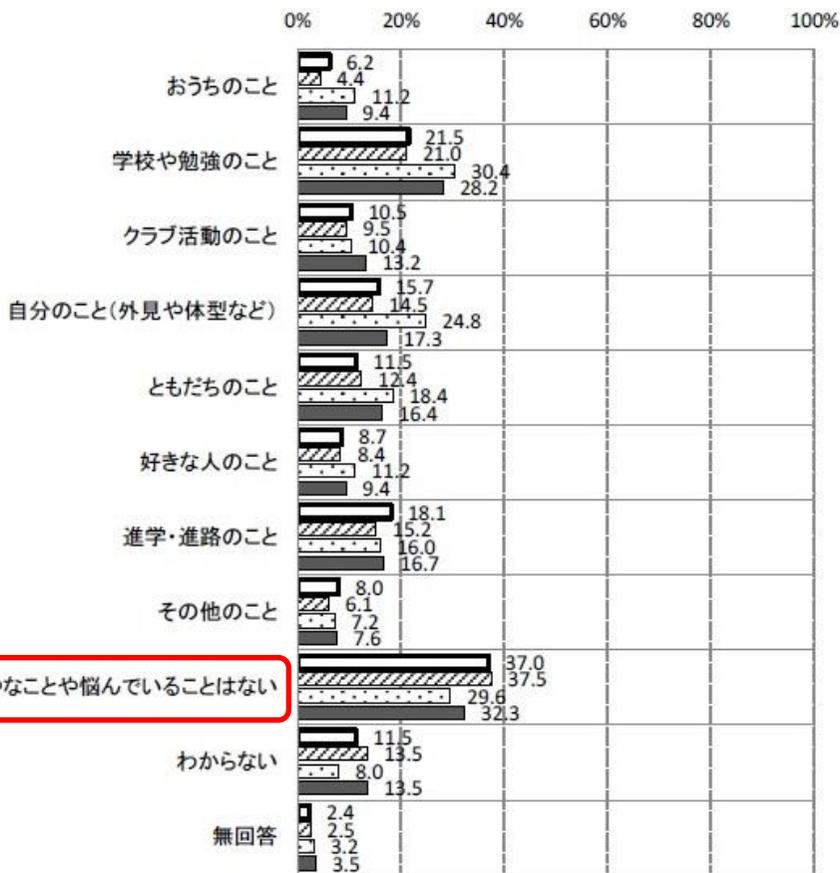
大阪府全市町村 (43 市町村)

◇困窮世帯ほど保護者の家にいる時間について、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」「お子さんの夕食時間には家にいる」割合が少ない。(中央値以上=92.1%、困窮度 I =83.6%)



豊中市

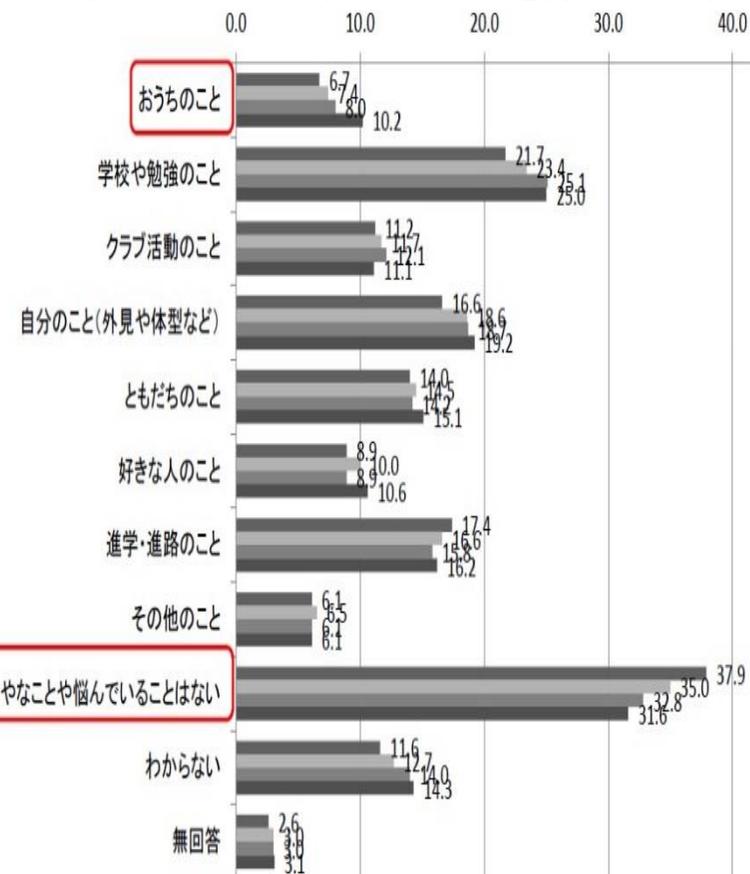
◇困窮度Ⅱの層が「嫌なことや悩んでいることがない」の割合が少なく、全体的に悩んでいる割合が多い。約6割（64.7%）の子どもが何らかの悩みを持っている。



■ 中央値以上 (n=1,077) ▨ 困窮度Ⅲ (n=571)
 □ 困窮度Ⅱ (n=125) ■ 困窮度Ⅰ (n=341)

大阪府全市町村 (43市町村)

◇困窮度が高いほど「おうちのこと」で悩んでおり、「嫌なことや悩んでいることがない」の割合が少ない。7割近くの子どもの何らかの悩みを持っている。



■ 中央値以上 (N=20437) ■ 困窮度Ⅲ (N=11973) ■ 困窮度Ⅱ (N=2235) ■ 困窮度Ⅰ (N=6042)